

電子デバイス関連基礎講座

社員教育のご案内

貴社ご希望の講演テーマを
貴社ご希望の時間構成で
すべてカスタマイズ化でご提供します

産業タイムズ社

社員教育のご案内

エレクトロニクス関連業界でご活躍の企業様、『社員教育』でお悩みになっていませんか？

新入社員はもとより、技術が目まぐるしく変化する同業界においては、第一線でご活躍のエンジニアの方々はもちろん技術者のみならず、顧客ニーズと直面する営業部隊の方々、購買ご担当の方々、あるいは総務・広報・人事など、比較的文科系ご出身の方々が多い職場にも、技術知識の習得が必要になってきています。

しかしながら、講演テーマやレベル、時間割など、ご希望に合致する企画がないのが実情ではないでしょうか。また、一人当たり数万円の参加費では、経費的にも難しいものがあります。

そこで私ども産業タイムズ社では、弊社発行の「半導体産業新聞」が取材などで長年にわたり培ってきたリソースをベースに、貴社のご希望にそったプログラムをカスタマイズで構成し、かつリーズナブルな価格でご提供させていただきます。

ぜひ、同パンフレットをご覧になられ、遠慮なく、気軽にお問い合わせください。皆様方からのご連絡、お待ちしております。

基礎講座講義メニュー（以下より選択）

■ 半導体の誕生とその歴史

■ 半導体プロセス

前工程
後工程

■ 半導体、電子部品の種類と機能

ディスクリート半導体
アナログIC
ロジックIC/LSI
メモリ
受動部品(抵抗、コンデンサ、コイル、トランス、モータ、PCB)

■ 半導体の応用

民生機器
産業機器
自動車

■ 半導体の使い方

ダイオード、SCR、TRIAC
トランジスタ(BJT,FET,IGBT)
アナログIC(電源IC、モータIC、オペアンプ他)
ロジックIC/LSI

■ 半導体仕様の見方

■ 半導体の信頼性

■ 電子機器、電子部品・半導体の新応用分野

■ 電子機器設計と半導体、電子部品

■ 半導体と環境対応(半導体による環境改善策、半導体製造、半導体)

■ 半導体、電子部品とICT技術(材料から機器までサプライチェーン)

■ 半導体業界知識

半導体市場、市場動向、新市場
プレーヤと戦略、サプライチェーン(材料～機器)
半導体価格構成、ICT技術

基礎講座対象顧客、受講者

対象は製造装置、半導体メーカから販売商社まで

分野	受講者			
	技術	資材	営業	その他
半導体装置・材料	○ 開発・設計	—	△	
半導体	◎ 開発・設計 応用技術	○	○	工場技術
LSI 設計、 ソフトウェア開発	○ 設計	◎	○	
電子機器	◎ 開発・設計	◎	—	工場技術
電子部品商社	◎ FAE	—	◎	管理者
地方自治体その他				○ 地域振興

専門技術講座教育 対象顧客、受講者

専門技術講座の対象層(対象は技術のみ)

講座名	部門				
	半導体	設計会社	電子機器	商社	その他
LSI、ASIC 設計講座	○	◎	◎	◎	学生
マイコン応用設計講座	○	◎	◎	◎	学生
デバイステスト技術講座	◎	—	—	—	
PCB 設計、モジュール講座	—	○	◎	—	
半導体実装技術講座	◎	—	—	—	
機構部品講座 モータの種類と構造	△	○	◎	○	
アナログIC講座 電源ICの使い方	△	○	◎	◎	
アナログIC講座 モータICの使い方	△	○	◎	◎	

【基礎技術講座(見本)】

■半導体メーカー 開発部隊向け(6時間)

- 半導体の誕生、その開発の歴史と人
- 半導体の製造
前工程/後工程
- 半導体の種類と機能
ディスクリート(ダイオード、サイリスタ、トランジスタ、光半導体)
アナログIC(電源、オペアンプ、モータ)
ロジックIC(標準ロジック、マイコン、ASIC、システムLSI)
メモリ
電子部品(抵抗、コンデンサ、コイル、トランス、モータ、PCB)
- 半導体の応用
民生機器、通信工業機器、他
LSI設計の基礎
マイコン/ASIC
- 半導体業界知識
各種カスタマイズ

■半導体製造装置・材料メーカー エンジニア向け(4時間)

- 半導体の誕生、その開発の歴史と人
- 半導体の製造
前工程/後工程
- 半導体の種類と機能
ディスクリート(ダイオード、サイリスタ、トランジスタ、光半導体)
アナログIC(電源、オペアンプ、モータ)
ロジックIC(標準ロジック、マイコン、ASIC、システムLSI)
メモリ
- 半導体の応用
民生機器、通信工業機器、他
- 半導体業界知識
各種カスタマイズ

■半導体メーカー/半導体商社 営業部隊向け(6時間~)

- 半導体の製造(事務職向け)
前工程/後工程
- 半導体の種類と機能(事務職向け)
ディスクリート(ダイオード、サイリスタ、トランジスタ、光半導体)
アナログIC(電源、オペアンプ、モータ)
ロジックIC(標準ロジック、マイコン、ASIC、システムLSI)
メモリ
受動部品(抵抗、コンデンサ、コイル、トランス、モータ、PCB)
- 半導体の応用
民生機器、通信工業機器、他
- 半導体業界知識
各種カスタマイズ

■セット機器メーカー 資材担当者向け(6時間~)

- 半導体の製造(事務職向け)
前工程/後工程
- 半導体の種類と機能(事務職向け)
ディスクリート(ダイオード、サイリスタ、トランジスタ、光半導体)
アナログIC(電源、オペアンプ、モータ)
ロジックIC(標準ロジック、マイコン、ASIC、システムLSI)
メモリ
- 半導体の応用
民生機器、通信工業機器、他
- 半導体業界知識
各種カスタマイズ

■セット機器設計/半導体設計/商社FAEなど 設計者向け(6時間~)

- 半導体の製造
前工程/後工程
- 半導体と受動部品の種類と機能
ディスクリート(ダイオード、サイリスタ、トランジスタ、光半導体)
アナログIC(電源、オペアンプ、モータ)
ロジックIC(標準ロジック、マイコン、ASIC、システムLSI)
メモリ
受動部品(抵抗、コンデンサ、コイル、トランス、モータ、PCB)
- 半導体の応用
民生機器、通信工業機器、他

●半導体の使い方

ディスクリートデバイスの使い方(ダイオード、トランジスタ、サイリスタ)
アナログICとは?(電源用IC、モータIC、オペアンプ、トランジスタアレイ)
マイコン/ASIC

●半導体業界知識

各種カスタマイズ

【専門技術講座(見本)】

■LSI設計 ASIC

- 導入講座
講義時間は2時間程度
- 講義内容
(1)設計フロー(設計の各工程)
(2)EDA概要(EDAの種類と機能)
(3)LSI設計(設計概要、設計の意味)
(4)試験(試験の目的、試験技術)~必要に応じて~

■マイコン

- マイコン基礎
マイコンとは?
マイコンの構成要素(ハード)と基本動作
周辺機能の仕組みと制御
ソフトウェア開発とプログラミング言語
ソフトウェア開発と言語
C言語
その他の言語
オペレーティングシステム(OS)とは?
パソコンと電子機器(組み込み)のOSの違い
リアルタイムOS(RTOS)とは?
- マイコン応用
組み込みソフト[デバッグ含む]実践(C、Linux)
リアルタイムOS(RTOS)タスク設計実践
統一モデリング言語(UML)の実践
モータ制御
画像処理(GUI(グラフィックユーザインタフェース)設計~アプリ開発等)
電源回路設計(デジタル電源制御等)
自動制御(組み込みシステムにおける制御)
周辺ハード(イーサネット、USBデバイス等)

■デバイステスト<ロジック&メモリ、アナログ>

- 電気的評価/テスト/解析
評価/テスト/解析(欠陥、故障モデル等含む)
品質保証&信頼性試験
製品規格(仕様スペック)
テストプログラム設計(DFT、BIST等)[デバッグ含む]
テストボード設計(評価ボード、マザーボード、プローブ等)
テストにてテストプログラム実践(測定、検証、解析等)
テストカバレッジ&故障検出率
測定データ処理

■パッケージ&高密度実装

- パッケージ
種類、構造、特性
- 高密度実装
各種実装技術による構造、特性
3次元構造
多チップ集積化

■プリント配線設計~モジュール化

- プリント配線
基盤の種類、構造、配線材、及び配線設計~構造
ノイズ削減、熱設計対策
プリント配線設計
- 機構部品講座 モータの種類と構造
- アナログIC講座 電源ICの使い方
- アナログIC講座 モータICの使い方

料金体系(基礎講座のみ)

■ 基本料金(90分) ¥100,000+税

- 30分毎に¥30,000+税にて延長可能です。(最長6時間まで延長可能)
- テキスト資料の配布はございません。(但し、別料金にて印刷を承ります)
- 出張講演の場合は、講師に関わる交通費・宿泊費は別途ご負担いただきます。

お好きなテーマと時間でカスタマイズしてご利用下さい。

お気軽にお問い合わせ、ご相談下さい。

■ 1日コース(6時間) 定価¥370,000+税のところ、¥320,000+税(特別価格)でご利用いただけます。

■ 専門技術講座は別料金となります。別途ご相談に応じます。

交通アクセス



JR山手線:	「神田」駅南口より	徒歩約13分
JR総武線(快速):	「馬喰町」駅2番出口より	徒歩約 5分
東京メトロ日比谷線:	「小伝馬町」駅2番出口より	徒歩約 5分
都営地下鉄新宿線:	「岩本町」駅A5番出口より	徒歩約 6分

株式会社 産業タイムズ社 事業開発部

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5TMMビル3F
TEL: 03-5835-5894 FAX: 03-5835-5494
E-mail: pd@sangyo-times.co.jp

半導体産業新聞